



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 特別養護老人ホーム 森町愛光園 静岡県周知郡森町一宮3150
Tel.0538-89-7031 Fax.0538-89-7100

施設見学会と 介護講座を 開催しました

**施設見学会
介護講座のご報告**

平成31年2月16日(土)
天宮サテライトに
て施設見学会と介護
講座がおこなわれま
した。地域の皆様に
施設の内部をご覧い
ただく機会として開催し、当日は地域の方々16
名が参加してくださり、終始和やかな雰囲気の中
でおこなわれました。

当日は、ユニチャーム株式会社様による介護
講座に加え、東洋羽毛東海販売株式会社様によ
る適切な寝具の提案と相談をおこなってくださ
りました。参加された方々からは「おむつって
こんなに進化しているとは知らなかった。」「コ
ンパクトで恥ずかしさは薄れそう。」「との意見が
聞かれました。

**施設見学会と
介護講座を
開催しました**

「おむつの中のポリマーって、
こんなに吸水してくれるん
ですね。」「まだ吸うね。」「と、驚
きの声が聞かれました。ご好
評により二〇一九年度も開催
を検討しております。ぜひご
参加ください。」

ポリマーの吸水力の実験

介護講座のテーマ
「おむつの選び方・使い方」
講師：ユニチャーム株式会社
川口さとみ様
(ライフリークアインストラクター)

ご挨拶



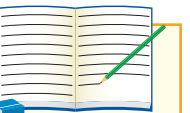
森町愛光園
園長 宮崎 弘光

森町愛光園の運営に関しまして、ご利用者様、ご家族様をはじめ、町内会や児童民生委員、森町行政、地元企業など地域の皆様から多くのご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、森町愛光園の運営方針の一番目は、『わたしたちは、利用者の尊厳を守ること』を第一とし、一人ひとりのQOLの向上をめざし、誠実かつ献身的に仕えます』とあります。では、『尊厳を守る』とは何か・・・ということ自体が非常に難しい問題なのですが、利用者一人一人の「尊厳を守る」ということを「常に意識すること」が大切であると考えます。最も非専門領域で個別領域である『生活の場』の中で、個々の多様な価値観に迎え、対応していくことが福祉施設職員の専門性であると思います。福祉・介護・看護・栄養等の専門性が高い人とは、利用者にとって「今、何が必要で、何が不必要なのかを把握し、必要なことだけを支援すること」であると思います。ベテラン職員だから専門性が高いわけではなく、介護などの支援をしていて、その利用者のことを最もよく理解している人が、その利用者にとって、最も専門性が高い職員と言えると思います。森町愛光園はこれからも、利用者が何を思い、何を必要としているのかを常に考え、それに最も寄り添える方法を一緒に考え、支援していくこと目指して努力して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



福祉先進国ノルウェーへ研修に行ってきました



2018年10月21日～28日までの8日間、聖隷福祉事業団のノルウェー職員研修に参加させていただきました。ノルウェーの人々の暮らしを肌で感じ、幾つかの施設を訪問させていただくことでノルウェーの社会福祉の現状を知ることができました。

中部国際空港から出発し、飛行機とバスを使い、片道約14時間かけてノルウェーの首都オスロ市へ訪れました。10月下旬でも日本の冬の気候に匹敵する寒さでした。街並みは非常に綺麗で、公共交通機関の数、仕組みが充実しており、人々が住みやすい国と言われる所以を感じました。

5日間をかけて、高齢者施設、障害者施設、幼稚園、ボランティアセンター等様々な施設へ訪問させていただきました。

各訪問先では、今回の訪問を快く迎えてくださり、施設のお話を伺ったり、施設内を見学させていただきました。提供しているケアや設備は大きく日本とは変わらない印象を受けましたが、施設によっては最新技術を導入し、より介護事故の防止に努めているところもありました。各施設を訪問していく中で、ノルウェーの社会福祉において、「ボランティア」が欠かせない存在であることが分かりました。それはノルウェーの長い歴史の中で確立され、今も人々の精神に根付いており、ボランティアを生き甲斐にされて生活している方もいました。施設の職員に加えて、多くのボランティアの方々を受け入れることで、ご利用者様に対して、より手厚く、それぞれの意向に沿った支援を提供されていました。

私が働くここ森町愛光園においても、様々なボランティアの方々、ご家族様に協力していただいています。ご利用者様がより充実した生活が送れるように、今ある皆様の支援に感謝し、信頼関係を大切にしていきたいと思います。ノルウェーを真似することは難しいかもしれませんが、私たちは日本の文化や習慣を大切にし、私たちにできることを考えていきたいと思っています。

移動を含め、8日間という短い期間でしたが、貴重な体験をさせていただきました。今回の研修で得た学びを皆様に還元できるように頑張りたいと思います。

森町愛光園 南北通り 森下裕己



第48回 森町ロードレース大会開催!

2月3日(日)大勢のランナーが、青空の下元気いっぱい森町を駆け抜けました。森町愛光園の職員も、ハーフ・10km・3kmコースに挑戦しました!



第17回 聖隷福祉学会にて研究発表

2月23日(土)アクトシティコングレスセンターにて第17回聖隷福祉学会が開催されました。森町愛光園も、サービスの質の向上や職員の研鑽の為に取り組んだ研究の成果を発表しました。この研究に際し、ご協力頂きました関係機関、皆様に深く感謝致します。

発表演題

高齢者と障がい児の 小さな共生社会

聖隷放課後クラブはなえみ森町
山口香代子
森町愛光園天宮サテライト
伊藤喜章
聖隷相談支援事業所森町
小島永倫子



編集後記

皆様、元号の予想は当たりましたか?
新しい世が、素
晴らしい時代と
なりますように!
(山中)



《お気軽にご相談下さい》

森町愛光園

☎ (0538) 89-7031

☆入居申し込み(担当:川辺・向)

☆ボランティア受け付け(担当:川辺)

☆短期入所生活介護(担当:平野)

☆デイサービスセンター(担当:大村)

☆聖隷ケアプラザセンター森町(担当:志水)

http://www.seirei.or.jp/elderlyhome/morimachi/

e-mail:aikoen-morimachi@sis.seirei.or.jp

天宮サテライト

☎ (0538) 85-9877

☆ホームヘルパーステーション(担当:竹内・鈴木)

☆聖隷放課後クラブはなえみ森町(担当:山口)

☆聖隷相談支援事業所森町(担当:小島)

森町愛光園

検索





～デイサービス編～

昨年度デイサービスでは、愛光園でのご利用者様の居場所づくり・役割づくりを目指して一年間取り組んできました。昨年度、納涼祭や、もりもり2万人祭りに出品する作品作りを頑張ったご利用者様。その中から今回は数名のご利用者様と小國神社へ出かけました。久しぶりに参拝したことや、カフェでお茶をしたことで大変喜んでいただきました。帰りにはご家族にお土産も購入され大満足でした！



あなたの夢叶えます！



～北通り編～

スタジアムに行きたい！

ご利用者様の夢を叶えるため、ジュビロ磐田の座席抽選へ申し込みをしました。見事当選し、夢のヤマハスタジアムへ行けることになりました！！



3月9日念願のヤマハスタジアムでの試合観戦へ行ってきました。ゴール後ろの席より試合を観戦し、選手を近くで見ることができました。いつもはテレビでの観戦だったため、現地ならではの緊張感・空気感を感じられていたようでした。

観戦後、ご家族様からも、「行けることがわかったし、楽しんでいる様子も見られたので秋にもまた行けたらいいね♪」と話も聞かれました。



南通り

みなさんは春といったら何を思い浮かべますか？春、南通りの居室を抜けると満開の桜が見られます。また、桜以外にもたんぽぽも咲いており、春になるとご利用者様と一緒に花見を楽しんでいます。ご利用者様自身でたんぽぽをつみ、香りをかいだりと春を満喫しています。この桜でいっぱいのピンクの景色を見ると「春だな」と感じます。今年の桜も綺麗に咲きました。



東西通り

東西通りでは年末に門松作りをおこないました。ご利用者様と職員が力を合わせ無事に完成させることができました。昨年度は季節ごとのレクリエーションに取り組み、ご利用者様に楽しんでいただきました。春には野菜の畑作り、夏には花火大会、秋には焼き芋作りと、森町ならではのお祭り見学。冬になると門松作りと毎年恒例となっている初詣に行ってきました。年間を通して季節に合わせたレクリエーションを楽しんでいただくことが出来ました。

各部署のプチ自慢☆



はなえみ森町

森町恒例の「もりもり2万人まつり」に、はなえみ森町としてパンの販売を2年続けておこないました。2018年のお祭りでは児童・職員で力を合わせて合計1200個のパンを完売することができました。はなえみの活動もサテライトの入居者様とのコラボ企画による行事や外出支援などを通じて四季を感じながらいろいろな経験をしてほしいと職員で計画しています。はなえみの自慢は、とにかく元気で笑顔いっぱい笑顔のかわいい児童のみなです！！



若い頃



現在

ケアプランセンター

ケアプランセンターの特技を持った職員を紹介します。まず1人目☆アコーディオンが得意な竹嶋さん。常にデスクの下に楽器を潜めており、いつでも弾ける体制です。アコーディオン暦10年！！楽譜がなくても声をかければスラスラと弾いてくれ場を楽しませてくれます！今後は同事業所、元合唱部職員とのコラボもあるかも……。そして2人目☆季節に合わせたお花をいつも玄関に飾ってくれる西尾さん。季節感を味わえ、明るい気持ちにさせてくれます。自宅ではお花の先生で、フラワーアレンジメントを教えています。昨年作った後輩の結婚式のブーケも、とても綺麗でした。声をかければきっと教えてくれるはず……。

